



# 2023年3月期 決算補足資料

2023年5月11日

株式会社ウィルグループ (東証プライム市場 6089)

# 目次

## I .2023年3月期 実績

## II .2024年3月期通期業績予想、配当予想

2023年4月からの新中期経営計画「WILL-being 2026」開始に伴い、2024年3月期第1四半期連結会計期間より国内WORK事業、海外WORK事業の名称を、国内Working事業（略称：国内W）、海外Working事業（略称：海外W）にそれぞれ変更します。なお、本資料においては新しいセグメント名称に統一して記載しています。

# I .2023年3月期 実績

# 2023年3月期 連結実績

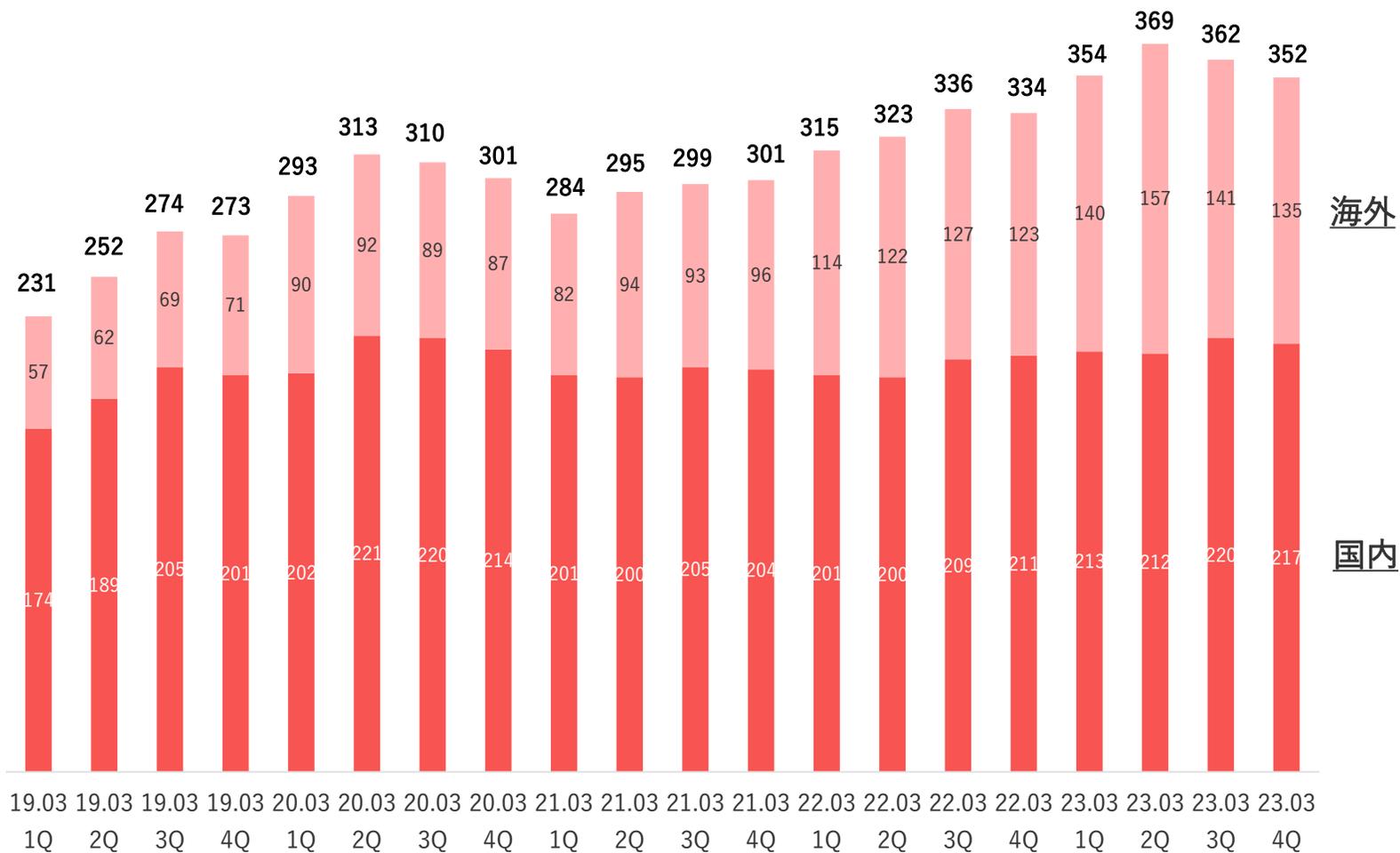
営業利益は、連結子会社の過年度決算訂正影響（△4億円）をカバーできず減益。  
中計目標に対しても、僅かに届かず。

(億円)	前期	実績	前期比		業績予想	業績予想比	中計目標	中計目標比
			増減	増減率				
売上収益	1,310.8	1,439.3	+128.5	+9.8%	1,440.0	△0.6	1,335.0	+104.3
売上総利益 (売上総利益率)	287.6 (21.9%)	317.3 (22.1%)	+29.7 (+0.1pt)	+10.3%	319.2 (22.2%)	△1.8 (△0.1pt)	301.6 (22.6%)	+15.7 (△0.5pt)
営業利益 (営業利益率)	54.7 (4.2%)	53.1 (3.7%)	△1.5 (△0.5pt)	△2.8%	52.0 (3.6%)	+1.1 (+0.1pt)	53.5 (4.0%)	△0.3 (△0.3pt)
税引前利益	52.9	51.4	△1.4	△2.8%	50.5	+0.9	—	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	32.8	32.3	△0.4	△1.5%	32.0	+0.3	—	—
EBITDA (営業利益+減価償却費及び償却費)	75.5	74.5	△1.0	△1.3%	72.4	+2.1	—	—

従業員数：6,212人  
(前年度末比：+849人)

# 連結売上収益の四半期推移

(億円)

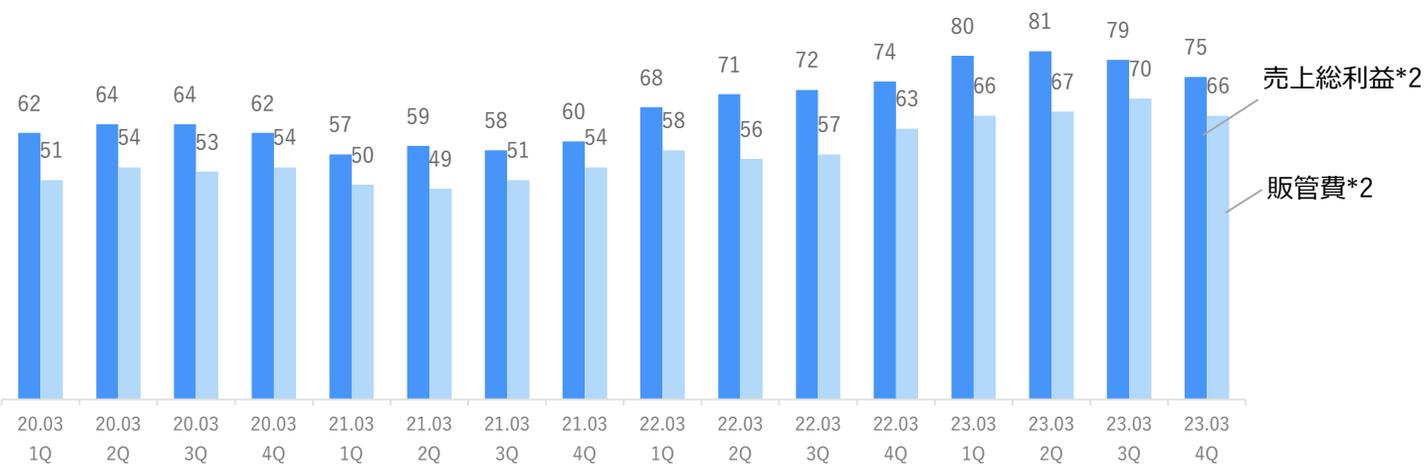
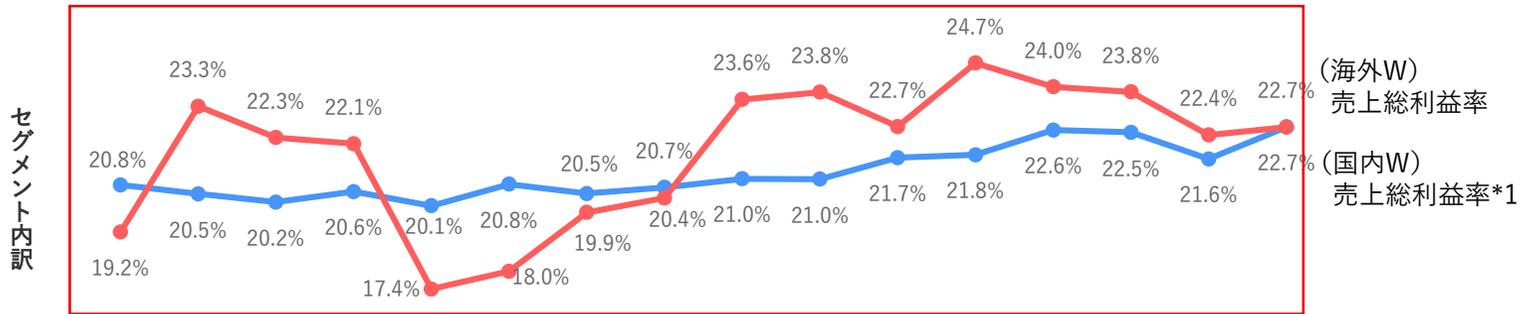


4Qは、  
23.3期3Q比：△10億円  
(うち為替影響：△0億円)

国内は、横ばい。  
海外は、派遣売上減少。

※売上収益は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

# 売上総利益率の四半期推移



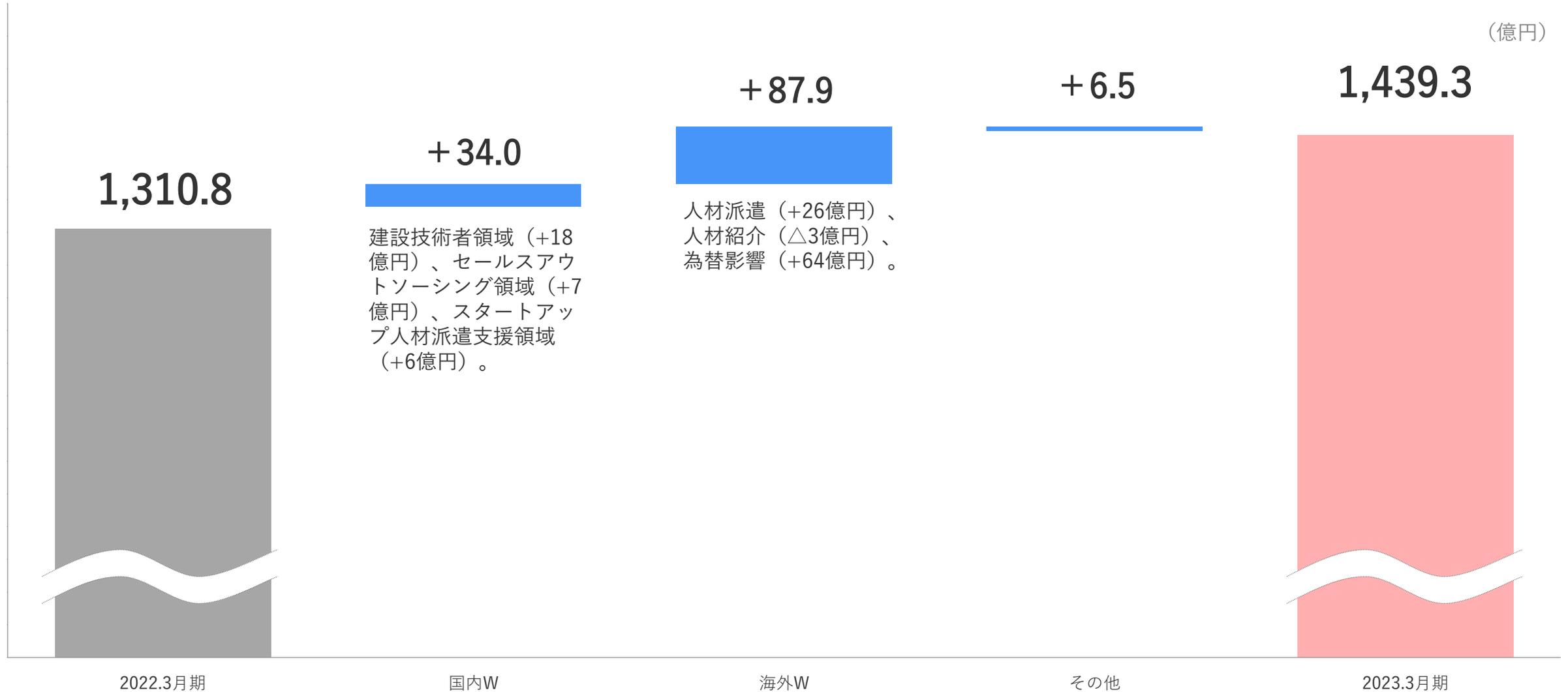
国内、海外とも売上総利益率は上昇するも、連結では有給休暇引当金の繰入等の影響により低下。

戦略投資領域（建設、スタートアップ、介護）の先行投資は、  
 4Q累計計画：8.3億円  
 4Q累計実績：8.2億円（△0.1億円）

\*1 セグメント内の連結調整は含んでいません。また、20.03期は従来の会計方針での数値です。

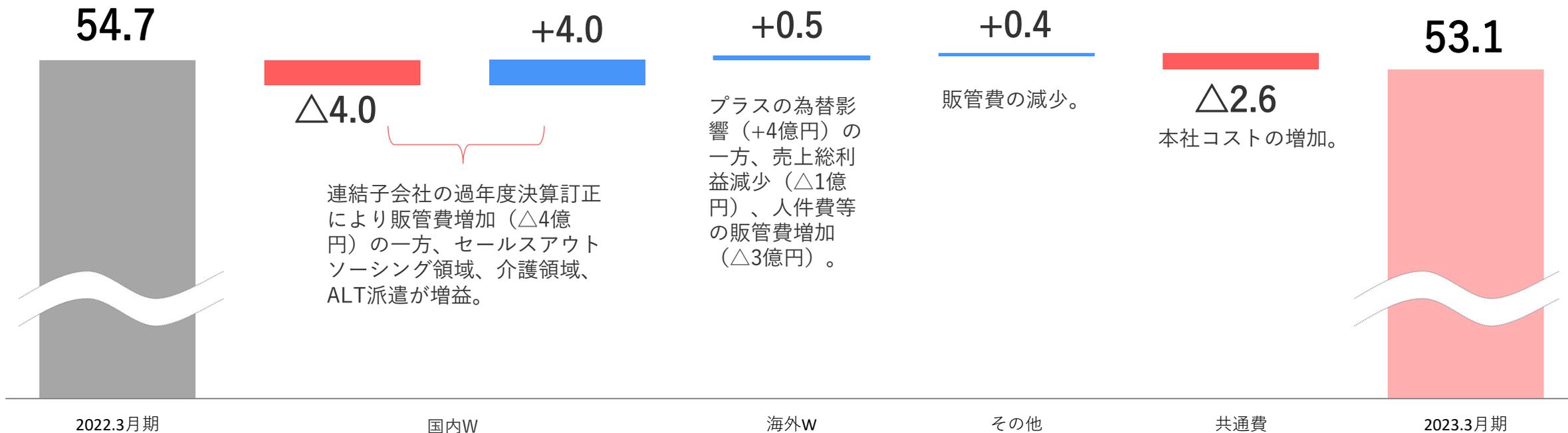
\*2 売上総利益、販管費は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

# 2023年3月期 売上収益 前年同期増減内訳



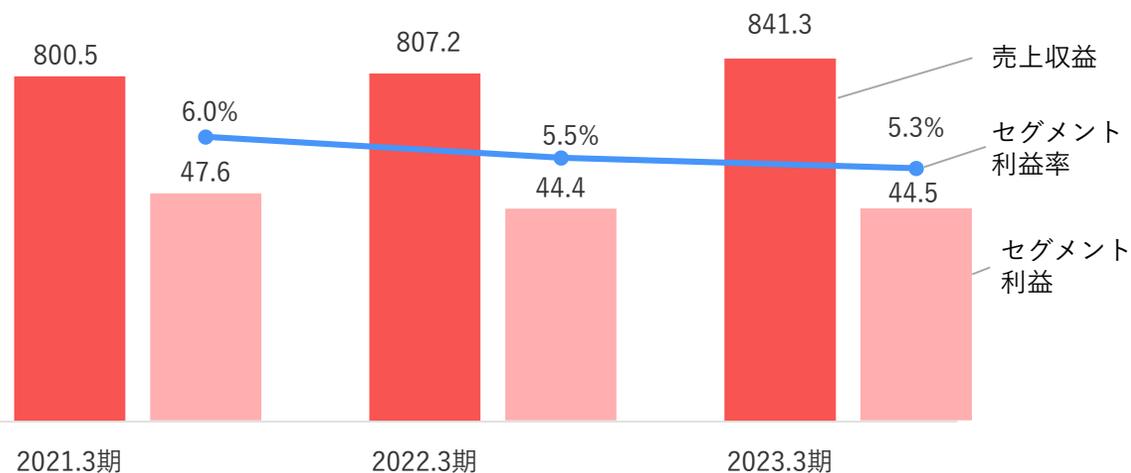
# 2023年3月期 営業利益前年同期増減内訳

(億円)



# 国内Working事業

## -売上収益、セグメント利益（億円）-

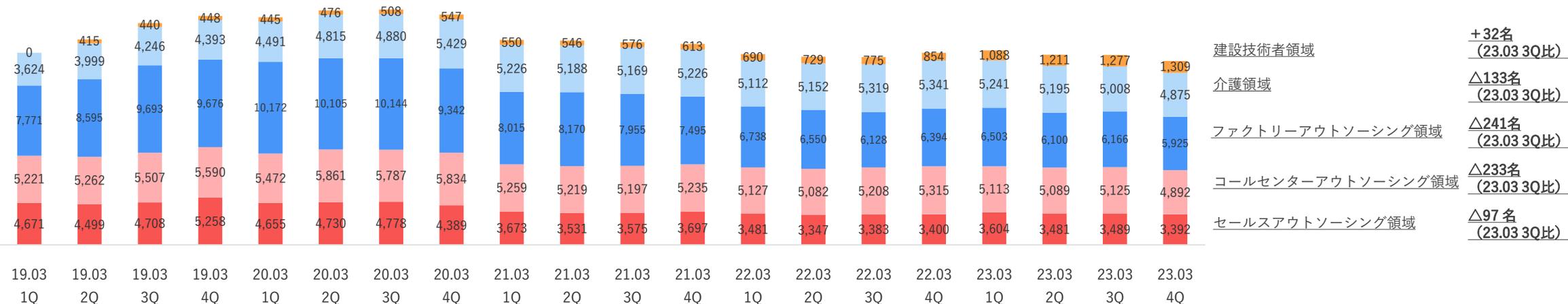


(億円)	前期	実績	前期比	計画	計画比
売上収益	807.2	841.3	+4.2%	838.7	+0.3%
セグメント利益	44.4	44.5	+0.1%	40.3	+10.4%

-トピックス-

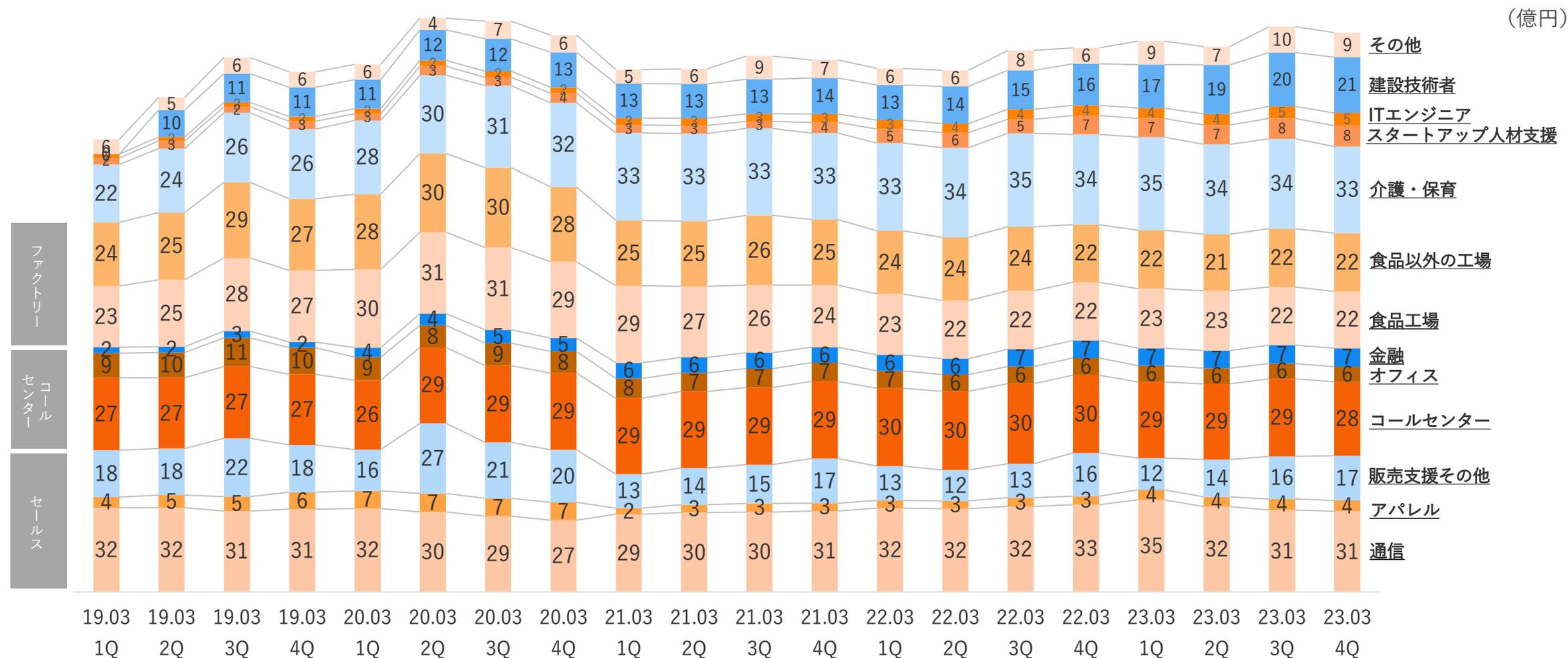
- 4Qの稼働人数は、3Qと比較して約700名減少。
- 建設技術者領域（4.7億円）、スタートアップ人材支援領域（3.5億円）の先行投資を実施。

## -稼働人数（人）-



# 国内Working事業（分野別売上の内訳）

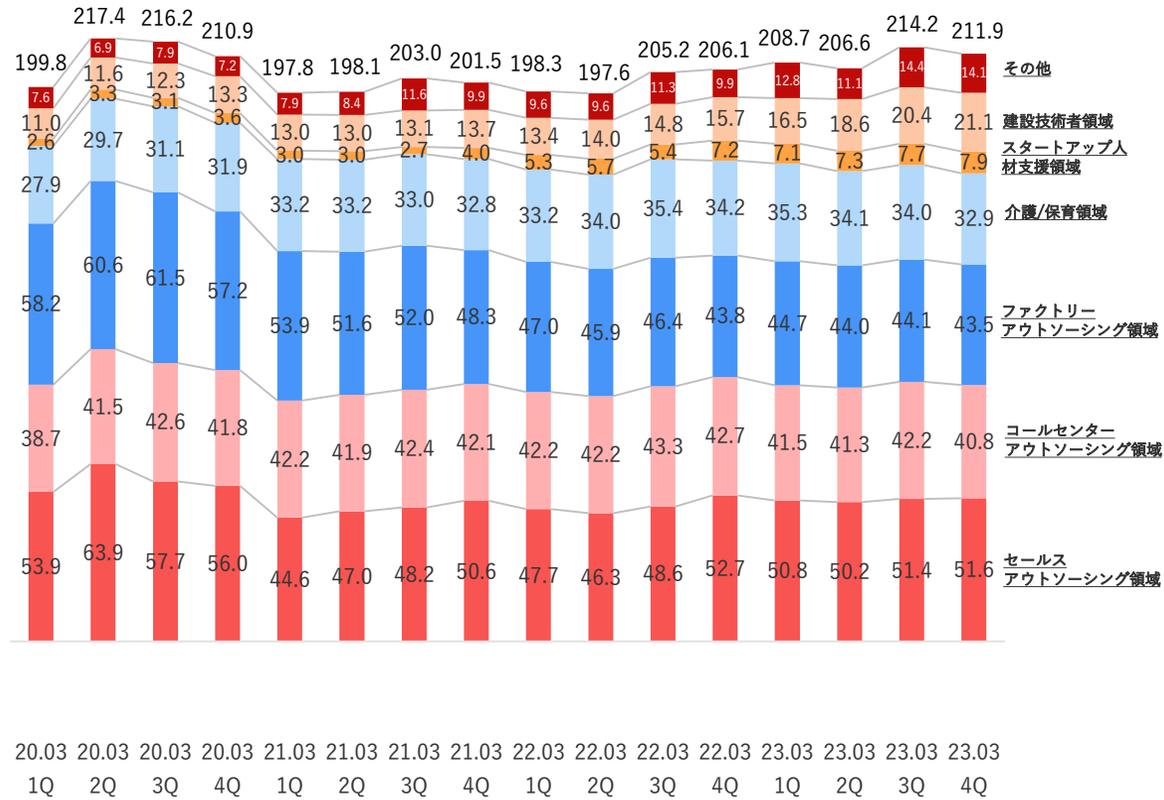
販売支援その他、スタートアップ人材支援、建設技術者領域が堅調に推移。



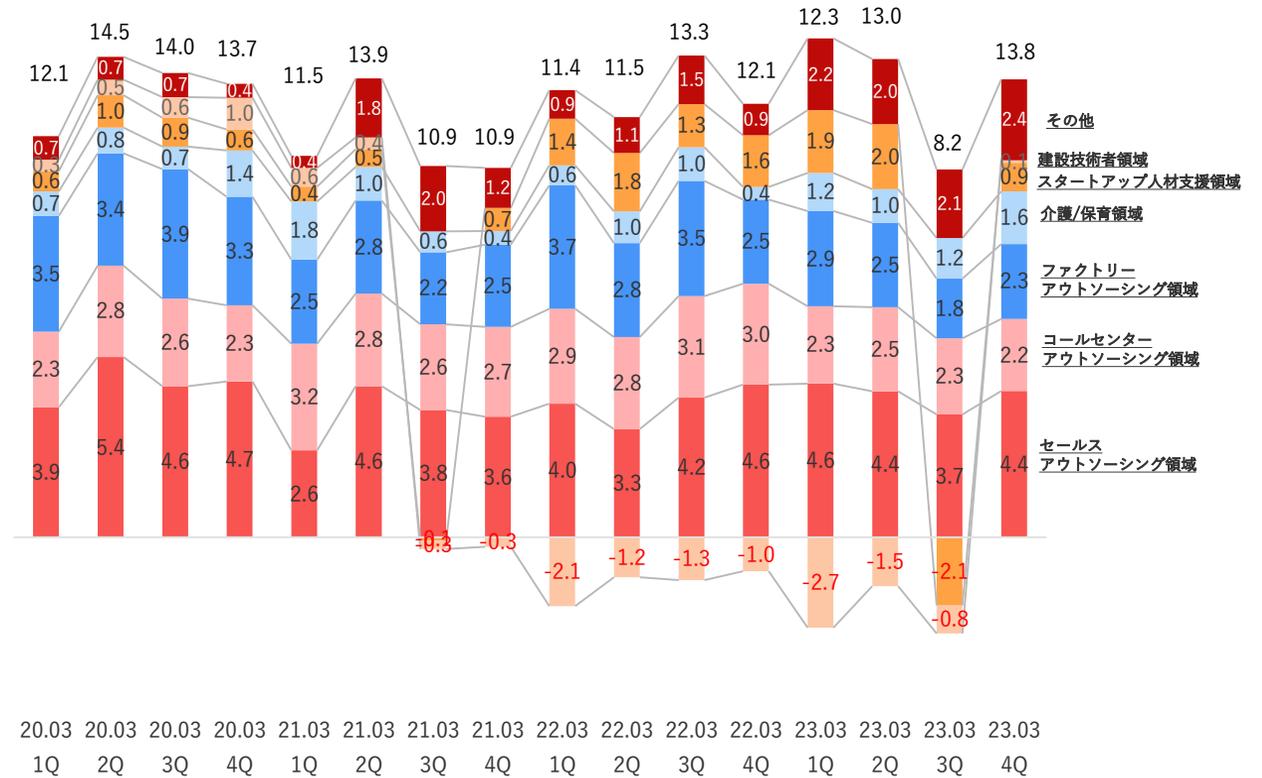
# 国内Working事業（領域別売上、営業利益）

売上収益、営業利益とも横ばい傾向が続く。建設技術者領域は、4Q黒字。

-領域別売上（億円）-



-領域別営業利益（億円）-



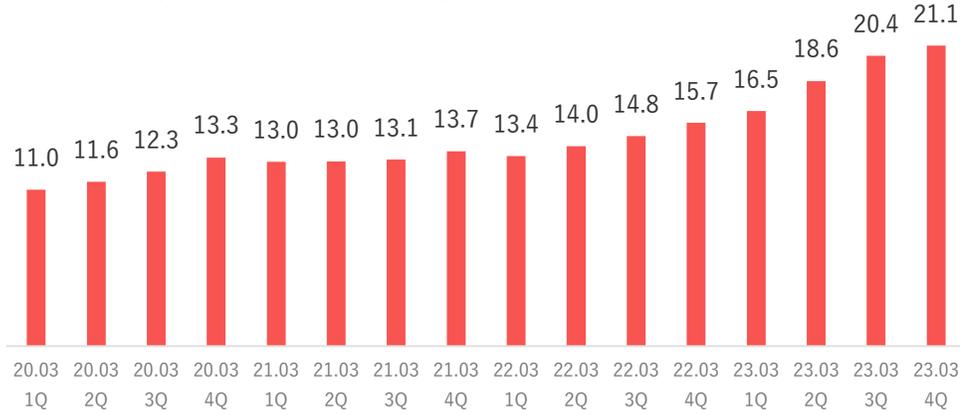
※セグメント内の連結調整は含んでいません。

# 建設技術者領域の進捗

## ■四半期別売上高の推移

単位：億円

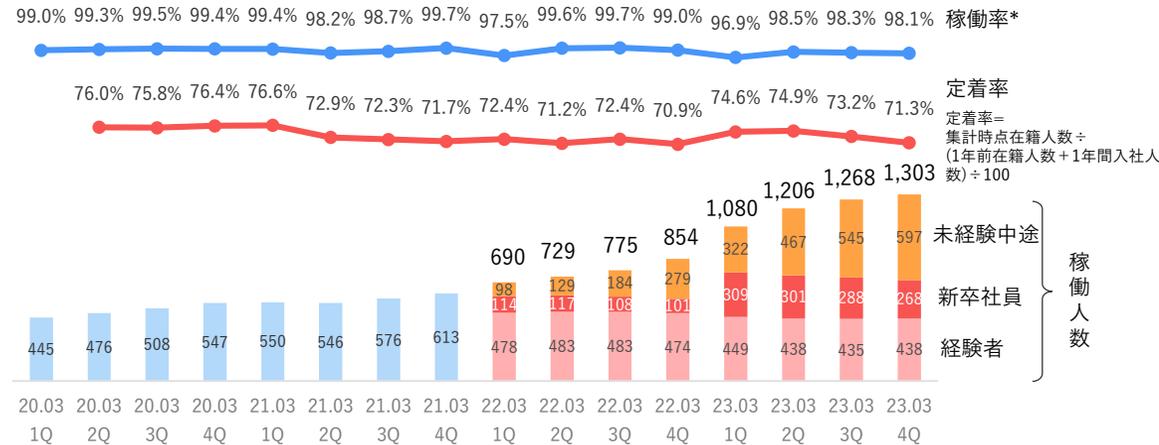
稼働人数増加により、順調に右肩上がり。



## ■稼働人数、稼働率、定着率

単位：人

稼働率は高水準で推移。引き続き定着率の向上に取り組む。

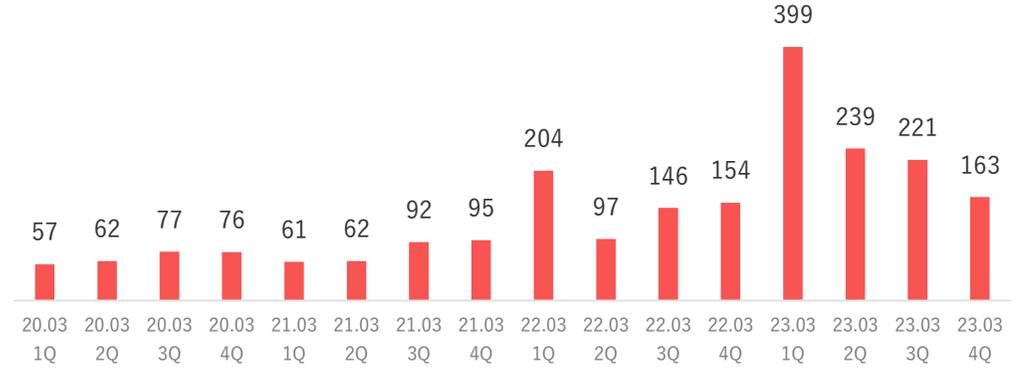


\*22.03 1Q、23.03 1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率です。  
累計期間の稼働率は、22.03 1Q：90.4%、23.03 1Q：89.6%になります。

## ■採用人数

単位：人

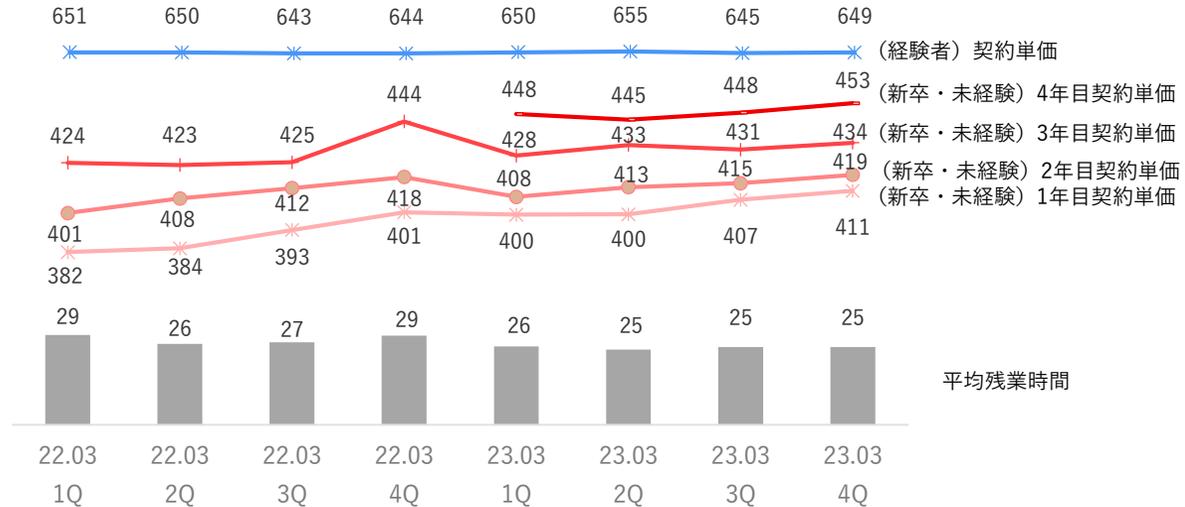
採用人数は、目標の1,000名/年を達成。  
\*1Qは、新卒採用（前期：131名、今期：236名）を含む。



## ■平均契約単価、平均残業時間（月間）

単位：時間、千円

新卒・未経験の平均契約単価は、顧客とのチャージアップ交渉等により3%-5%/年上昇。  
残業時間は横ばい傾向。

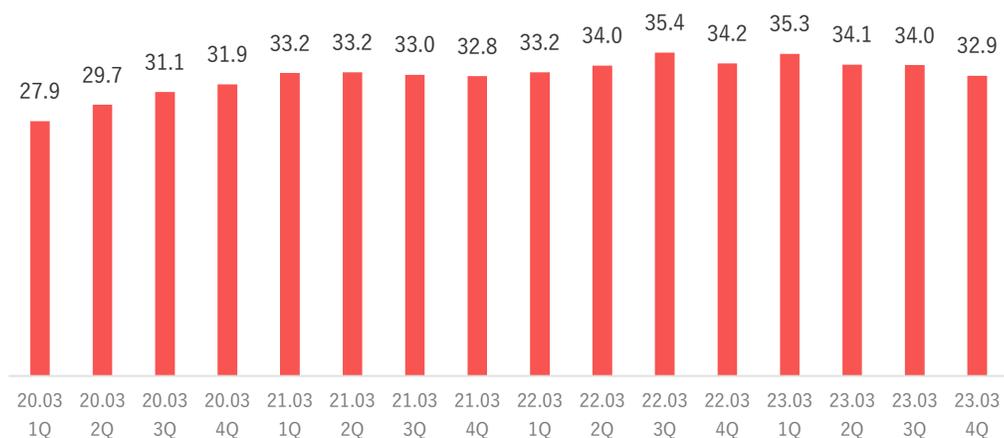


# 介護領域の進捗

## ■ 四半期別売上高の推移

単位：億円

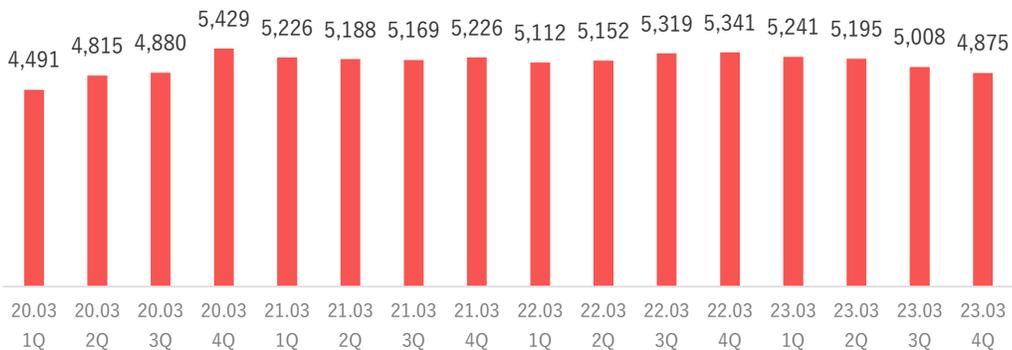
人材紹介は堅調に推移するも、人材派遣売上が減少。



## ■ 稼働人数

単位：人

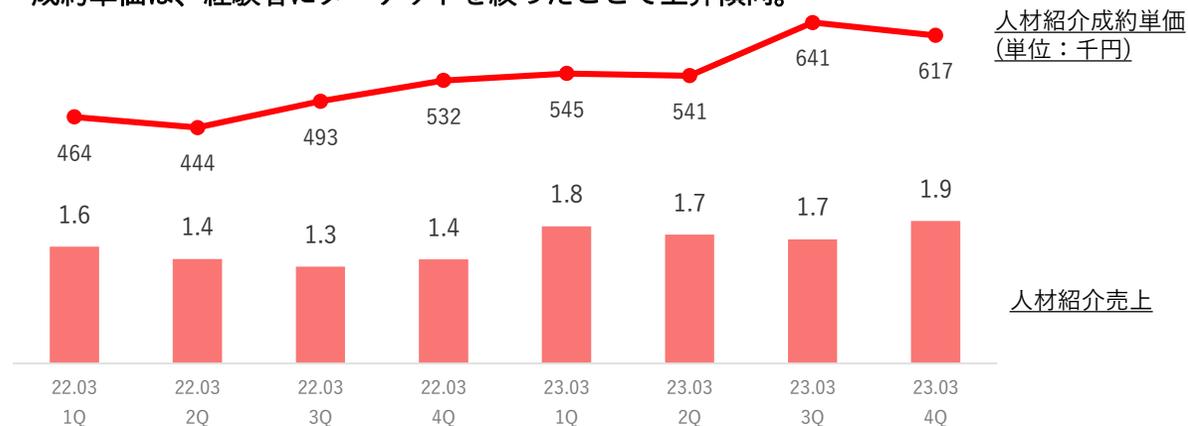
新規採用が苦戦したことで、稼働人数は前四半期比で減少。



## ■ 人材紹介売上と人材紹介成約単価

単位：億円

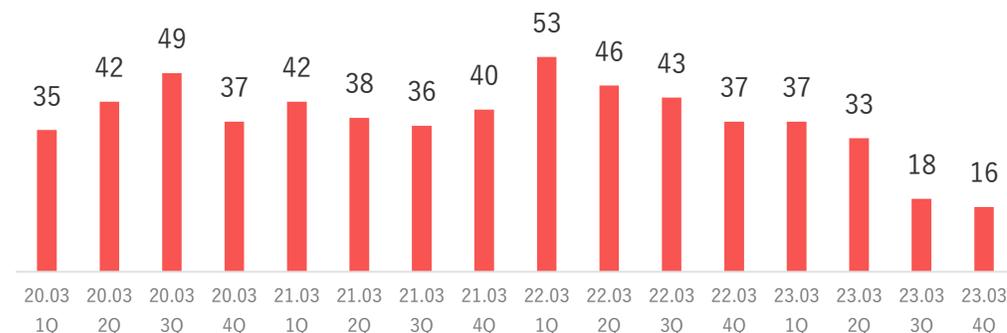
成約人数の増加により紹介売上は増加。  
成約単価は、経験者にターゲットを絞ったことで上昇傾向。



## ■ 人材紹介部門社員数

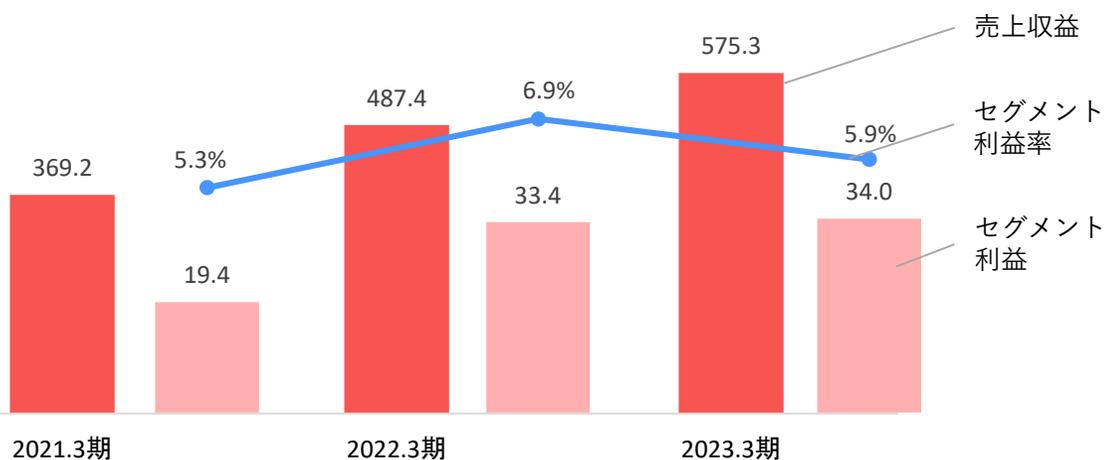
単位：人

生産性を維持しながら、今後増員予定。



# 海外Working事業

## -売上収益、セグメント利益（億円）-

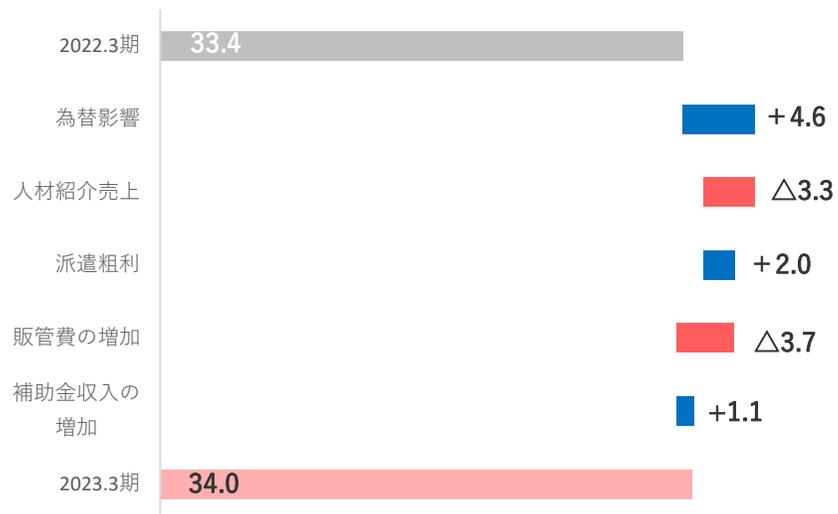


売上収益	前期	実績	前期比	計画	計画比
売上収益	487.4	575.3	+18.0%	577.7	△0.4%
セグメント利益	33.4	34.0	+1.7%	32.1	+6.0%

### -トピックス-

- 3Qまでポストコロナの急激な人材紹介需要。
- オーストラリアドル、シンガポールドルとも円安に推移。  
為替影響は、  
(前期比) 売上収益：+64億円、営業利益：+4.6億円

## -セグメント利益増減要因（億円）-



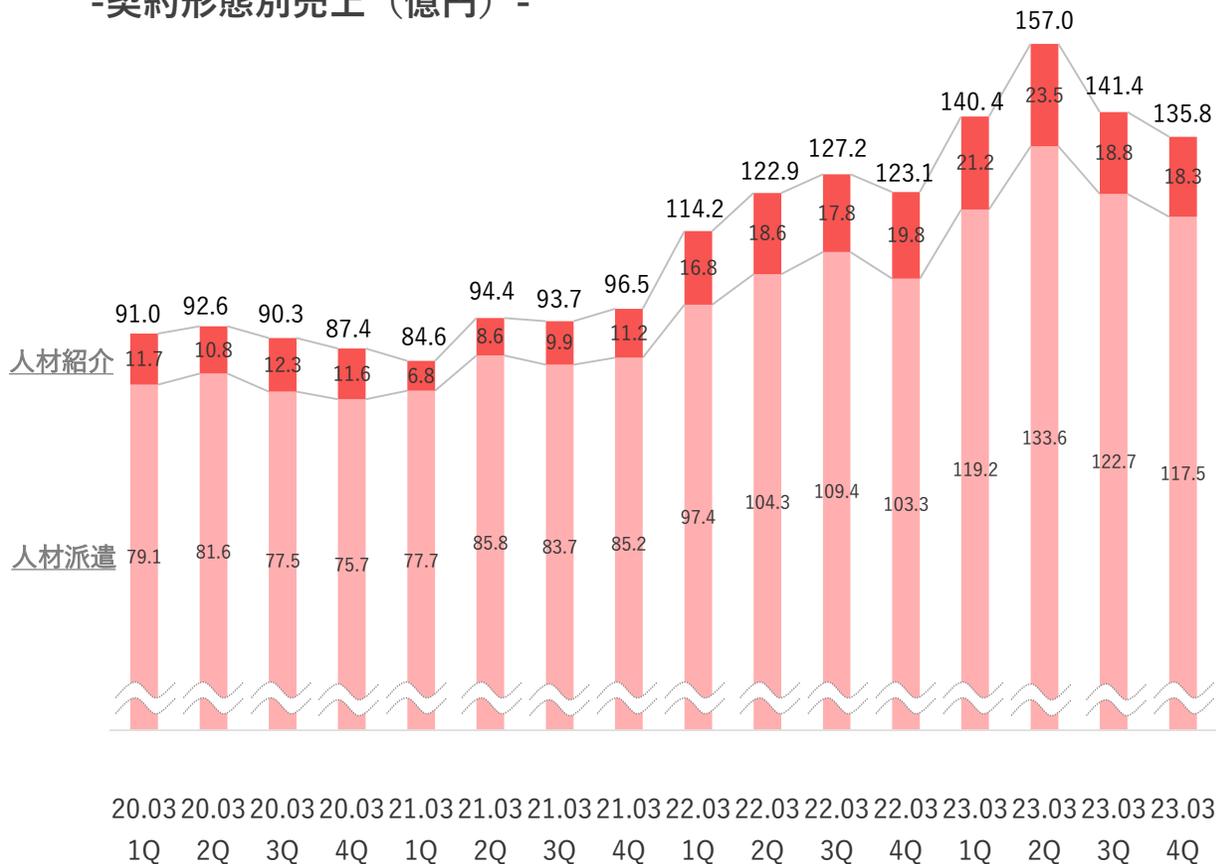
### □為替感応度

	計画 レート	4Q実績 レート	前年同期 レート	1円変動による影響額/年	
				売上収益	利益
オーストラリアドル	98円	93円	83円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	93円	98円	83円	1.1億円	0.1億円

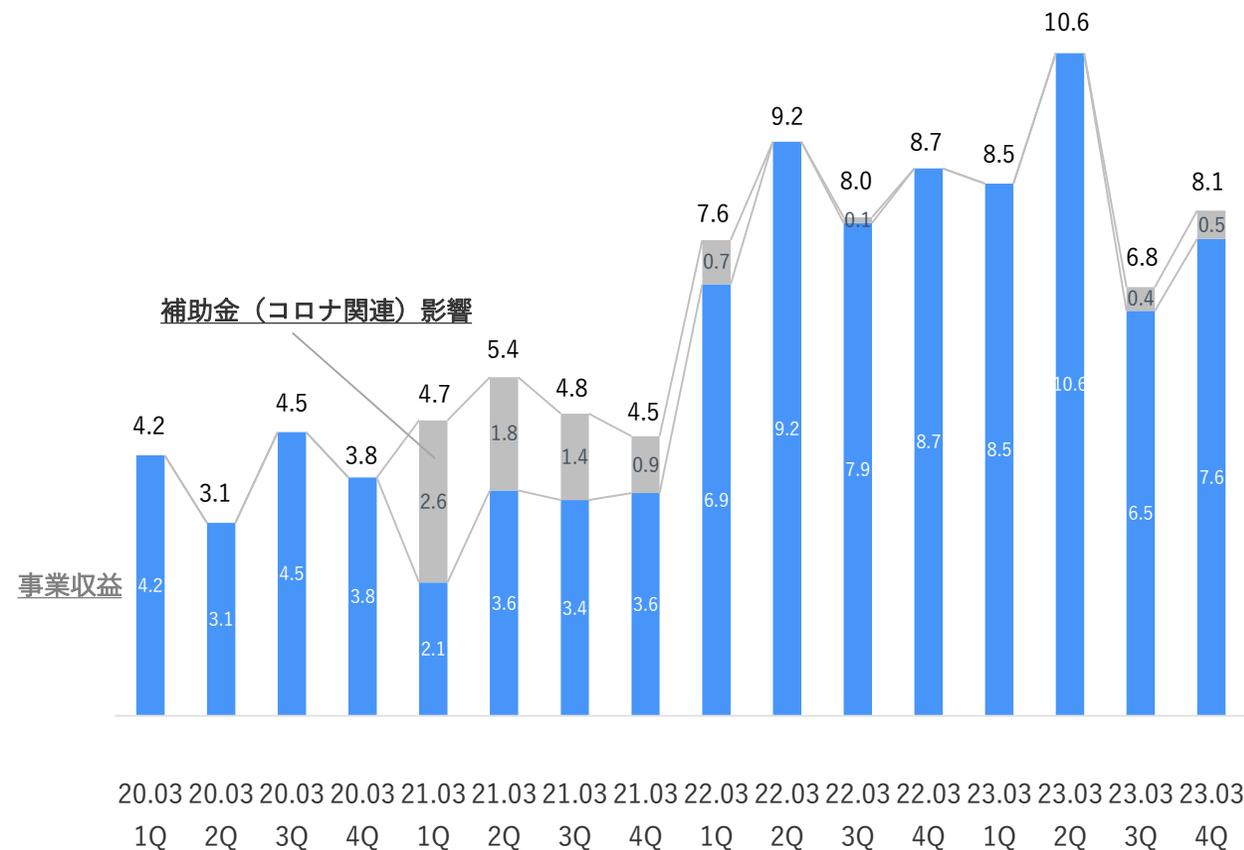
# 海外Working事業（契約形態別売上、営業利益推移）

3Q比では、一部顧客との派遣契約終了等により人材派遣売上は減少したが、人材紹介売上は横ばい。4Qは、政府補助金等3.5億円を計上。

-契約形態別売上（億円）-



-営業利益（億円）-

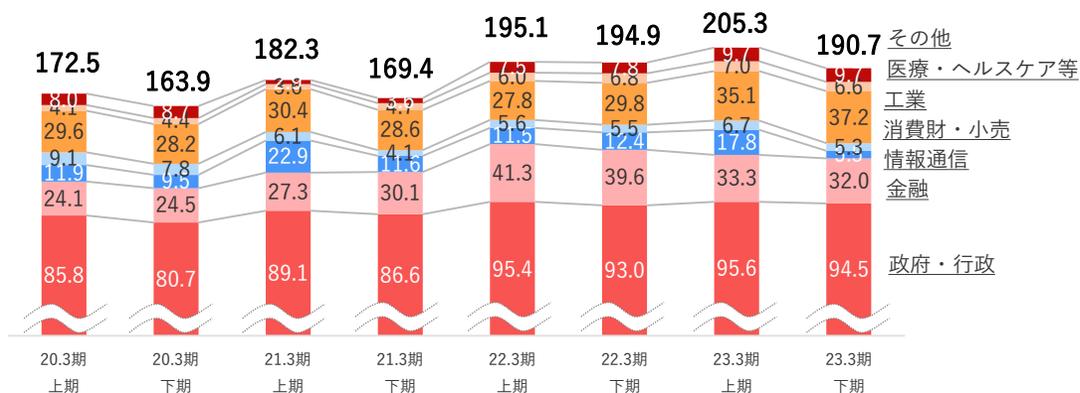


# 海外Working事業（分野別売上の内訳（半期））

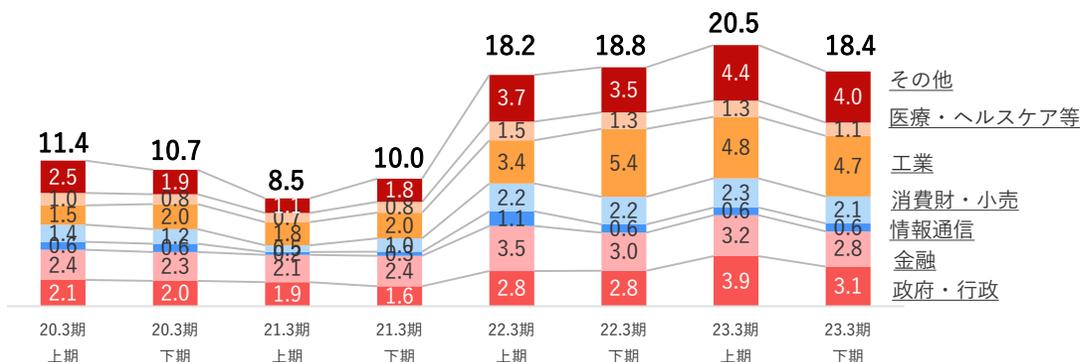
シンガポールの人材派遣は、政府・行政が堅調に推移。人材紹介は、急激な人材需要は一巡したものの、両国とも求人件数は高水準で推移しているため、今後も堅調に推移する見通し。

## ■オーストラリア

### ・人材派遣



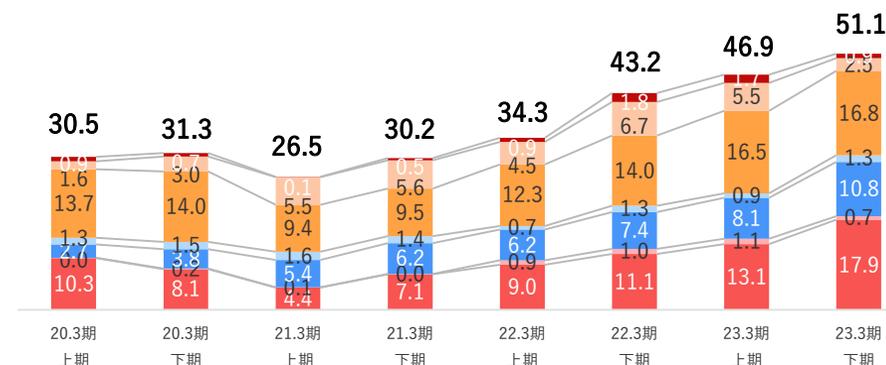
### ・人材紹介



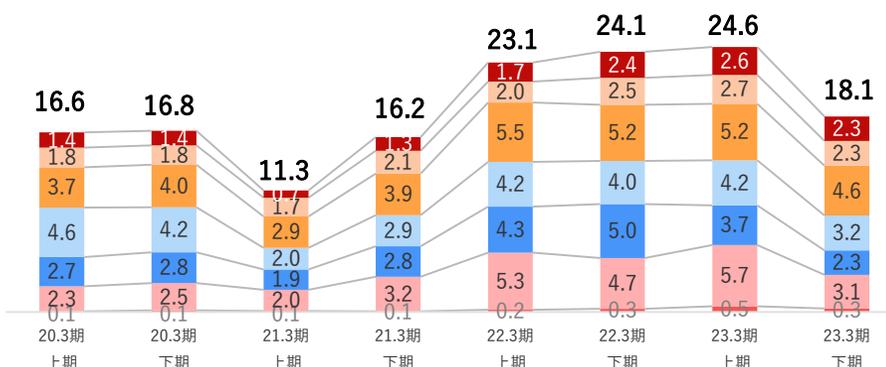
## ■シンガポール

### ・人材派遣

(億円)



### ・人材紹介

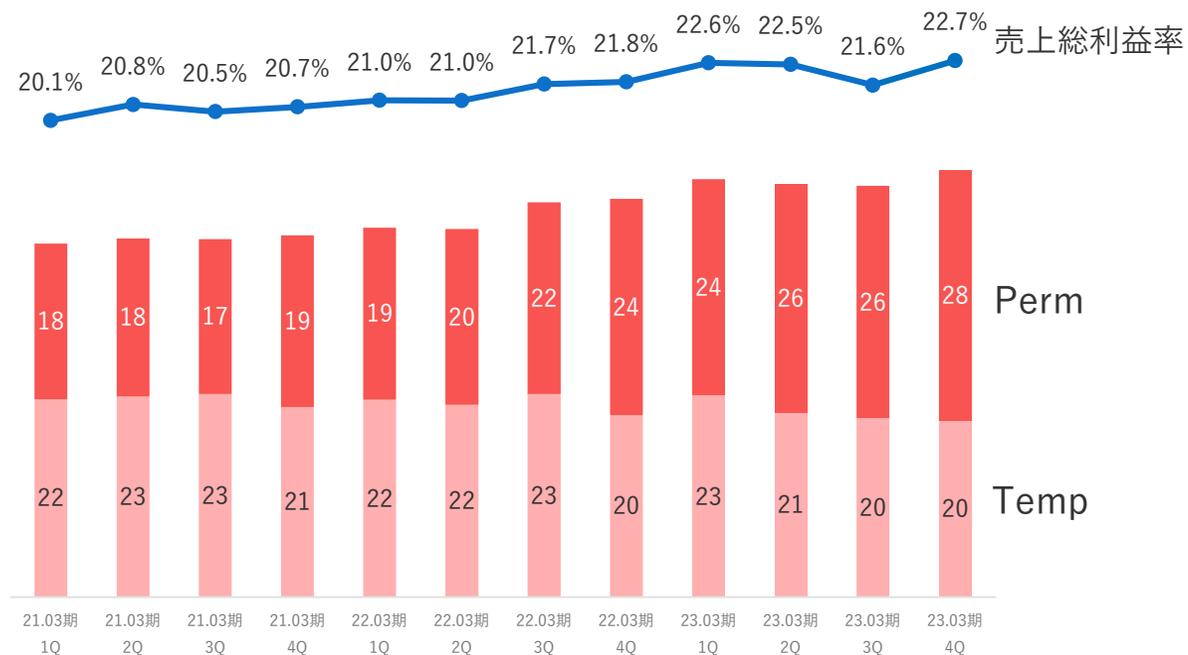


1シンガポールドル=98円、1 オーストラリアドル=93円で換算しています。

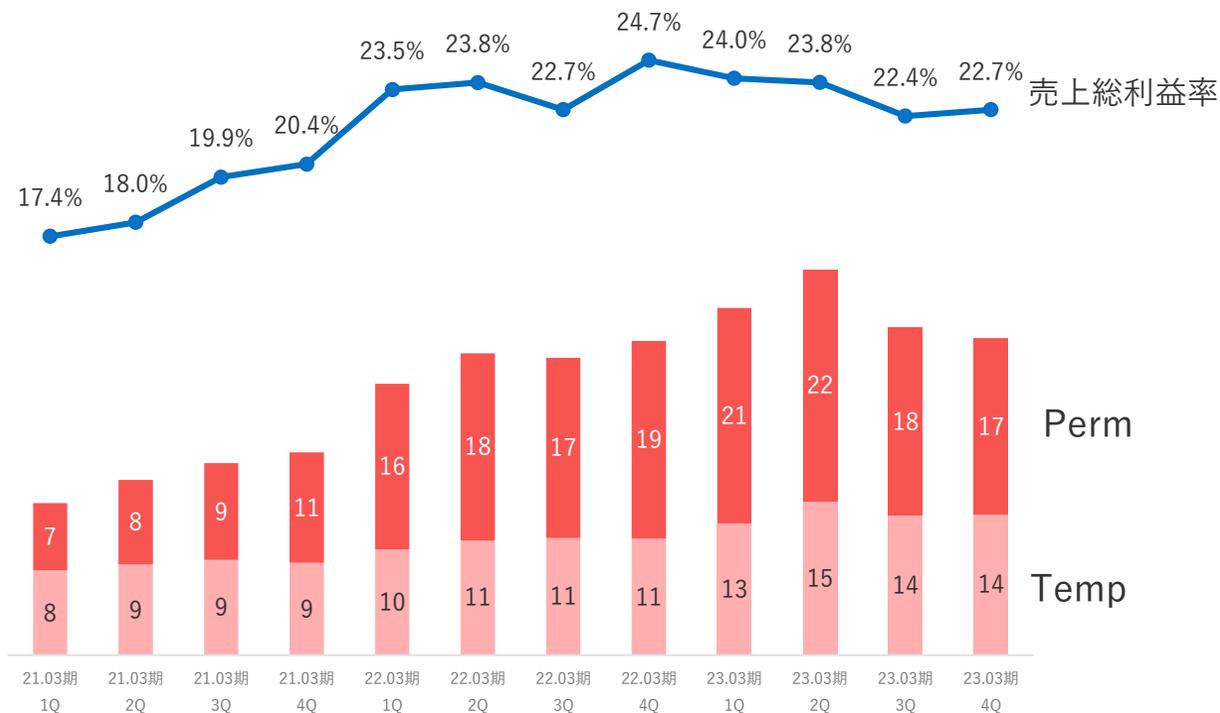
# (国内・海外) ポートフォリオシフト進捗

国内Working領域は、Perm領域の増加により、売上総利益率が上昇。  
海外Working領域は、売上総利益率は前四半期比で横ばい。

-国内Working事業 Temp/Perm別売上総利益※ (億円) -



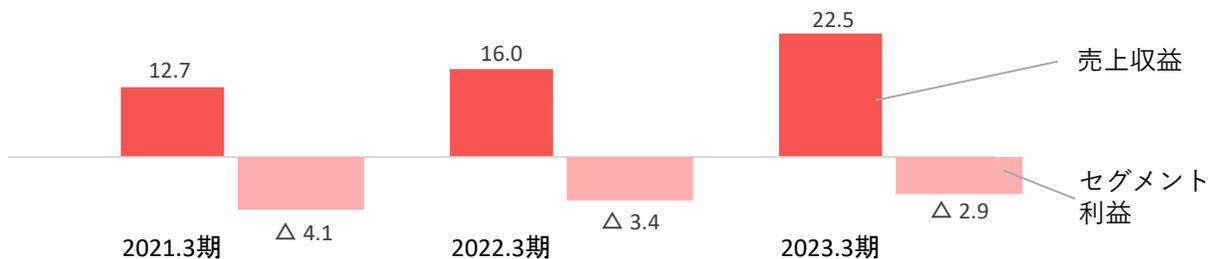
-海外Working事業 Temp/Perm別売上総利益 (億円) -



※セグメント内の連結調整は含んでいません。  
売上総利益、売上総利益率は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

# その他

## -売上収益、セグメント利益（億円）-



## -その他の事業内容-



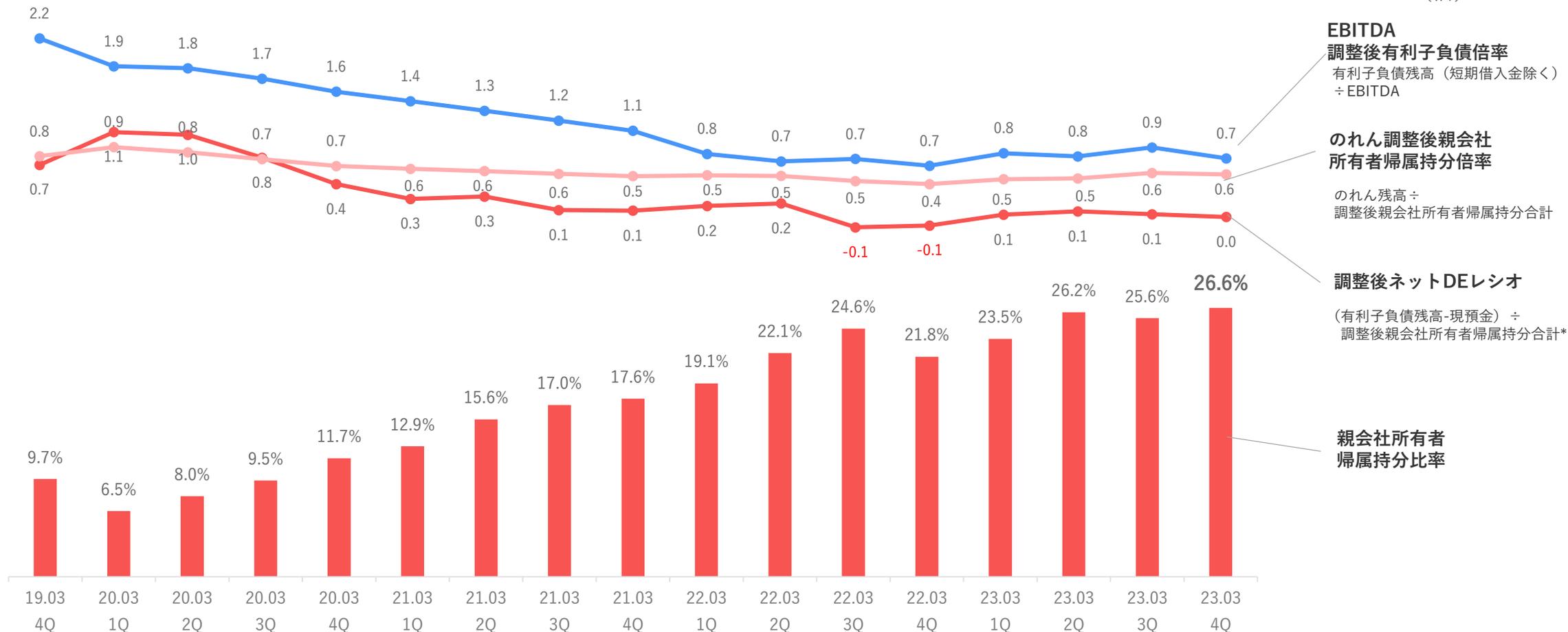
(億円)	前期	実績	前期比	計画	計画比
売上収益	16.0	22.5	+40.5%	23.6	△4.3%
セグメント利益	△3.4	△2.9	-	0.5	-

## -トピックス-

➤探索領域（インバウンドサービス）への先行投資を継続実施。外国人労働者の入国は限定的な状況が続いているため、外国人労働者向けサービスを一部縮小したことから、販管費が減少。

親会社所有者帰属持分比率は、4Qで26.6%。中期経営計画目標：20%を上回って着地。

(倍)



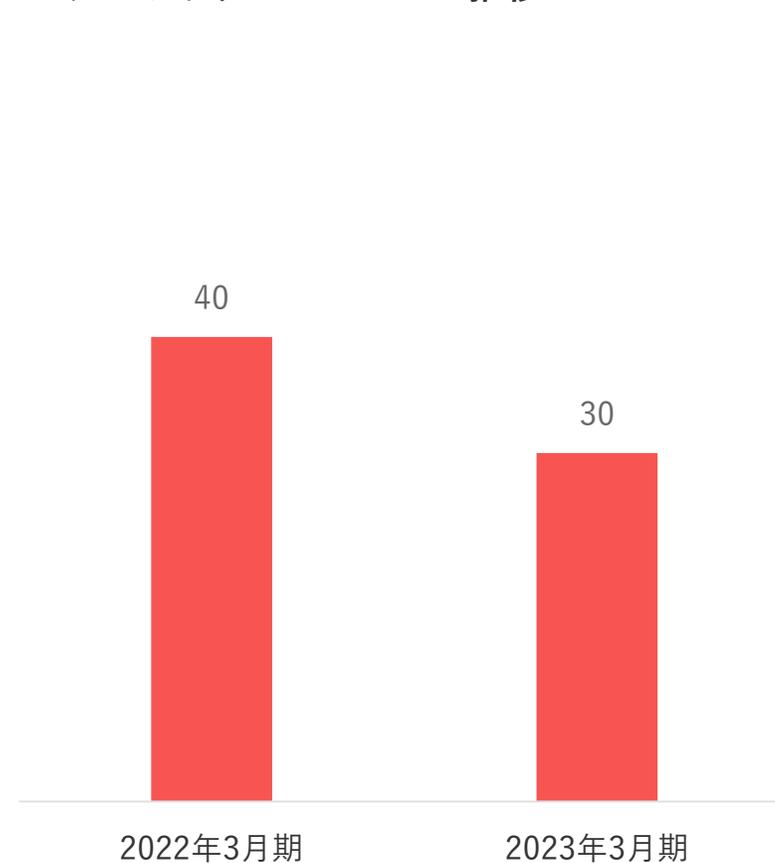
# 連結貸借対照表

(億円)	2022年 3月末	2023年 3月末	増減	主な増減要因
流動資産	272.8	286.6	+13.7	
うち現金及び現金同等物	89.7	95.9	+6.1	
うち営業債権及びその他の債権	174.5	179.2	+4.7	
非流動資産	250.6	262.7	+12.1	
うちのれん	65.1	81.2	+16.0	海外孫会社の新規連結による増加 (+14億円)
うちその他の無形資産	61.5	59.9	△1.5	
資産合計	523.5	549.3	+25.8	
流動負債	293.6	284.1	△9.4	
うち営業債務及びその他の債務	152.9	161.5	+8.5	
うち借入金	57.8	67.6	+9.7	
うちその他の金融負債	52.4	13.6	△38.8	株式追加取得による売建プット・オプションの減少 (△35億円)
非流動負債	98.6	106.4	+7.8	
うち借入金	22.0	33.8	+11.8	借入 (+43億円)、返済 (△33億円)
うちその他の金融負債	62.8	59.5	△3.3	
負債合計	392.2	390.6	△1.6	
資本合計	131.2	158.7	+27.6	
うち親会社の所有者に帰属する持分合計	113.9	146.2	+32.2	親会社株主に帰属する当期利益の計上 (+32億円)
負債及び資本合計	523.5	549.3	+25.8	
親会社所有者帰属持分比率	21.8%	26.6%	+4.8pt	

# 連結キャッシュ・フロー

(億円)	2022年3月期	2023年3月期
税引前利益	52	51
減価償却費及び償却費	20	21
法人所得税の支払額	△11	△24
その他の営業活動	△19	△0
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>43</b>	<b>48</b>
有形固定資産等の取得及び売却	△7	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得及び売却	0	△7
その他の投資活動	4	△6
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3</b>	<b>△17</b>
有利子負債の純増減	△21	12
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得及び売却	△6	△37
支払配当金	△5	△7
政府補助金による収入	3	5
その他の財務活動	0	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△29</b>	<b>△27</b>
為替変動の影響額	4	3
現金及び現金同等物の増減額	15	6
現金及び現金同等物期末残高	89	95
<b>フリーキャッシュ・フロー (営業C/F+投資C/F)</b>	<b>40</b>	<b>30</b>

フリーキャッシュ・フロー推移 (億円)



## III.2024年3月期 通期業績予想、配当予想

# 2024年3月期通期連結業績予想

国内Working事業は、11億円の先行投資を計画。海外Working事業は、円高で計画。

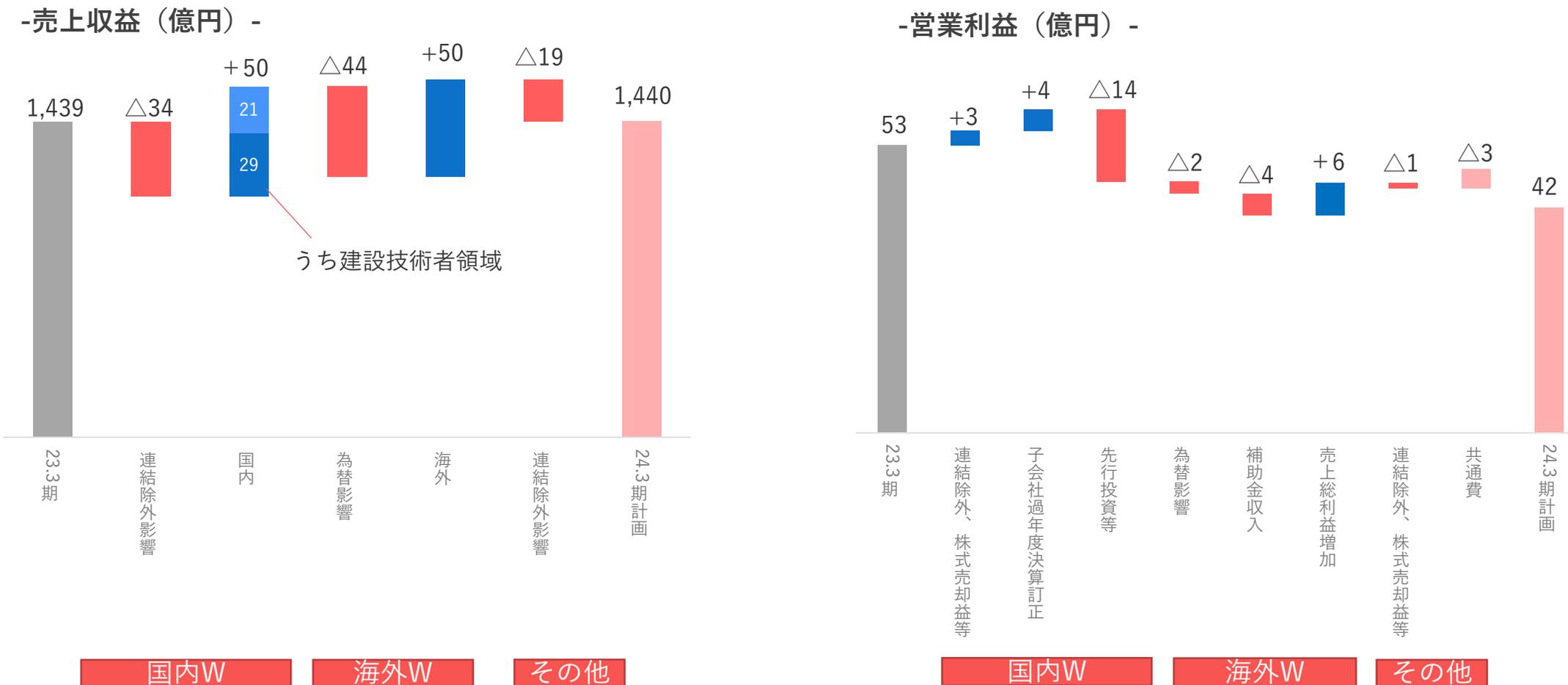
(億円)	2023.3月期	2024.3月期 (業績予想)	前期比	
			増減	増減率
売上収益	1,439.3	1,440.0	+ 0.6	+ 0.0%
うち国内Working事業	841.3	858.0	+ 16.6	+ 2.0%
うち海外Working事業	575.3	578.5	+ 3.2	+ 0.6%
うちその他	22.5	3.3	△19.1	△85.0%
売上総利益	317.3	334.5	+ 17.1	+ 5.4%
(売上総利益率)	22.1%	23.2%	+ 1.2pt	-
営業利益	53.1	42.0	△11.1	△21.0%
(営業利益率)	3.7%	2.9%	△0.7pt	-
うち国内Working事業	44.5	37.8	△6.6	△15.0%
うち海外Working事業	34.0	33.3	△0.7	△2.1%
うちその他	△2.9	△3.1	△0.2	-
うち調整額	△22.4	△25.9	△3.5	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	32.3	28.0	△4.3	△13.5%
EBITDA	74.5	62.9	△11.6	△15.6%
為替レート			1円変動による影響額/年	
			売上収益	利益
オーストラリアドル	93円	86円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	98円	94円	1.1億円	0.1億円

# 2024年3月期第2四半期累計期間連結業績予想

(億円)	2023.3月期	2024.3月期 (業績予想)	前期比	
			増減	増減率
売上収益	723.5	690.0	△33.5	△4.6%
うち国内Working事業	415.2	411.0	△4.2	△1.0%
うち海外Working事業	297.4	277.4	△20.0	△6.7%
うちその他	10.8	1.5	△9.3	△85.6%
売上総利益	162.1	159.3	△2.8	△1.8%
(売上総利益率)	22.4%	23.1%	+0.7pt	-
営業利益	29.3	19.0	△10.3	△35.2%
(営業利益率)	4.1%	2.8%	△1.3pt	-
うち国内Working事業	22.7	17.2	△5.5	△24.3%
うち海外Working事業	19.1	16.8	△2.3	△12.0%
うちその他	△1.5	△1.5	△0.0	-
うち調整額	△11.0	△13.5	△2.4	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	17.4	12.3	△5.1	△29.5%
EBITDA	39.6	29.4	△10.2	△25.9%
為替レート			1円変動による影響額/年	
			売上収益	利益
オーストラリアドル	94円	86円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	97円	94円	1.1億円	0.1億円

# 2024年3月期連結業績予想 売上収益及び営業利益の増減要因（前期比）

売上収益は、前期に行った事業ポートフォリオの見直し、為替レート的前提（円高）で横ばい。  
 営業利益は、増収の一方、国内Working事業での先行投資により減益見通し。



# 2024年3月期連結業績予想（国内W領域別）

国内Wでは、ブランドプロモーション(3億円)を除き、以下の先行投資を実施予定。

(億円)

セグメント	領域		2023.3月期 (実績)	2024.3月期 (業績予想)	増減	先行 投資枠	先行投資の内容
国内W	セールス アウトソーシング領域	売上	203.9	210.1	+6.1	-	
		営業利益	17.1	14.8	△2.3	1億円	正社員派遣人員の採用費。
	コールセンター アウトソーシング領域	売上	165.8	167.3	+1.5	-	
		営業利益	9.3	6.6	△2.7	-	
	ファクトリー アウトソーシング領域	売上	176.4	184.9	+8.5	-	
		営業利益	9.4	7.8	△1.6	1億円	正社員派遣人員の採用費、外国人管理受託の営業人員増員。
	介護ビジネス支援領域	売上	136.2	130.2	△6.0	-	
		営業利益	4.9	1.3	△3.6	1億円	外国人管理受託の営業人員増員。
	スタートアップ 人材支援領域	売上	29.9	33.0	+3.0	-	
		営業利益	2.6	3.3	+0.6	-	
	建設技術者領域	売上	76.6	105.7	+29.0	-	
		営業利益	△4.9	△4.9	+0.0	5億円	新卒・未経験者採用費、営業人員及びフォロー人員の増員。

# 2024年3月期 配当予想

株主還元方針を、「累進配当かつ総還元性向30%以上」に変更。  
株主還元方針に基づき、2024年3月期の配当は、前期同額の1株当たり44円の予定。

## 前中計(21.3期-23.3期)の株主還元方針

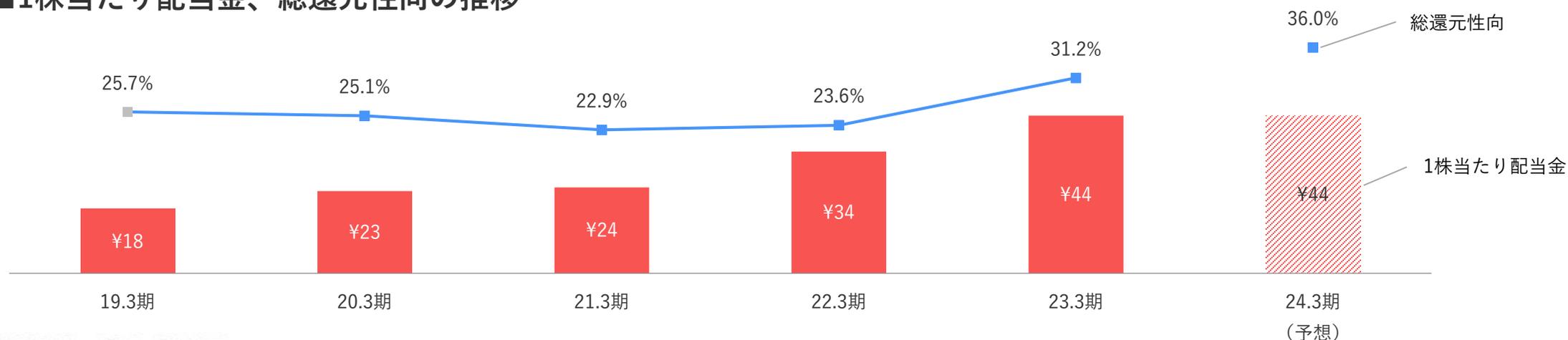
- ・ 総還元性向30%を目安  
(対期首業績予想)



## 中計(24.3期-26.3期)の株主還元方針

- ・ **累進配当**  
減配を原則実施せず、増配または維持
- ・ **総還元性向30%以上**  
期中の業績進捗に応じ機動的な自己株式取得を都度検討

## ■1株当たり配当金、総還元性向の推移



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ カンパニーセクレタリー室IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■ 「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶



# Appendix

# 海外（豪州、シンガポール）のマクロ環境



## 当社のビジネス環境

豪州、シンガポールとも求人件数は、足元減少しており、業種別では、ITや金融等が減少しています。

安定した領域で展開している人材派遣は、堅調に推移している一方で、人材紹介は、ポストコロナの急激な人材需要がQ3で一巡しました。足元では顧客の需要減少は見受けられませんが、先行きには、注視が必要です。



## 関連経済指標

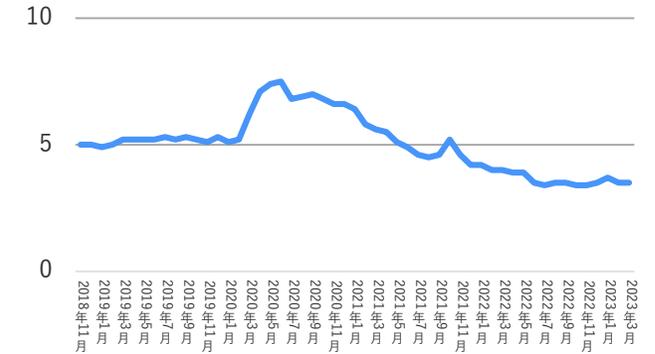
### ■ 求人件数

\*出典：豪州統計局



### ■ 完全失業率

\*出典：豪州統計局



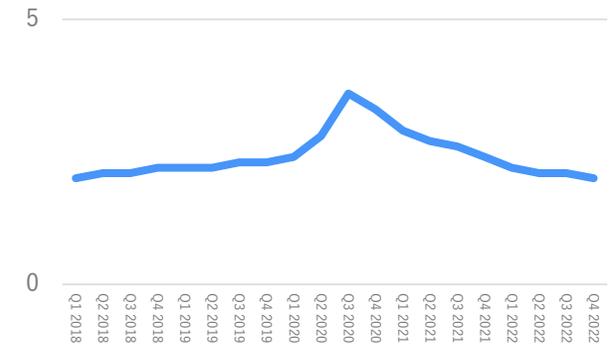
### ■ 求人件数

\*出典：シンガポール人材開発省



### ■ 完全失業率

\*出典：シンガポール統計局



# 減損リスクについて

ウィルオブ・コンストラクションは、将来の拡大に向けて先行投資期間。海外は3社とも、コロナ前の2020.3期比較では各社とも成長しており、現時点で全ての会社において、減損リスクなし。

(億円)

	主要拠点	事業内容	連結開始 (持分割合)	投資 残高 *1	*2	2020.3期	2021.3期	2022.3期	2023.3期
	首都圏、東北	東北地方を中心に建設技術者派遣・紹介を展開。経験・スキルの高い施工管理技士が多数在籍しており、特に建築土木の大型工事の技術者派遣において優位性を持つ。	2018/6 (100%)	25.0	売上	48.0	52.7	57.8	76.6
					利益	2.4	0.3	△5.5	△4.9
	シンガポール	シンガポールを中心に、香港、日本、米国、中国、オーストラリア及び英国の各国の完全子会社を通じて、HR領域に特化した人材紹介、コンサルティング事業を展開。	2019/1 (100%)	27.1	売上	18.9	14.9	24.7	21.1
					利益	5.9	4.4	9.8	6.3
	ブリスベン	オーストラリアにおいて、政府機関及び大手企業に対して人材紹介及び人材派遣を展開。	2019/4 (100%)	41.7	売上	81.9	80.2	113.3	120.5
					利益	7.5	7.8	15.5	11.6
	メルボルン	オーストラリアにおいて、政府機関、通信企業、エネルギー企業、電化製品製造業等、様々な業界の機関・企業に対し、事務職、コールセンター関連職の人材紹介及び人材派遣を展開。	2018/1 (100%)	15.5	売上	148.7	158.5	158.4	171.9
					利益	4.2	4.2	3.9	6.2

4 社合計投資残高 : 109億円  
連結投資残高 : 127億円

\*1 投資残高は、のれん残高と識別可能な無形資産残高の合計です。

\*2 連結開示時期を問わず、売上、利益の実績については連結会計期間の4月-3月の実績を記しています。

また、為替影響を除くため、1シンガポールドル=98円、1オーストラリアドル=93円で換算しています。

\*3 利益については、識別可能な無形資産の償却額、内部取引、一時的に発生した費用を除いた税引前利益です。

# 地域別 契約形態別 売上収益

## 国内

## 海外

(億円)

